

Winter 2025

発掘！発見！土の中にはロマンがいっぱい

# もぐら の はなし



富士宮市 埋蔵文化財センターだより

冬号

2025  
Winter





# 土

土器編③

## 器や石器について知ろう！



市内各地にある遺跡からは、土器や石器に限らず、さまざまな遺物が出土しています。今号からは、弥生土器に注目して解説していきます。

### 1 弥生土器ってどんな土器？

**特徴** 約2,300年前～約1,700年前の弥生時代に作られた土器。基本的には薄手のものが多いです。

**作り方** 粘土をこねて、ひも状にしたものを積み上げて成形します。土をドーム状にした覆い焼きで野焼をするので、縄文土器よりも高温で丈夫に焼き上がります。

**使い方** 壺は穀物や水などを貯蔵していたと考えられ、甕は煮炊きに使用されました。脚が付いた高坏は、食器として使われました。日常生活に加え、祭祀の際にも使われました。



壺（泉遺跡）

### 3 市内から出土した 弥生土器は？

完全な形に近い状態で発見された弥生土器を紹介します。弥生時代の土器には、一部装飾性の強いものもありますが、一般的には装飾性が控えめで機能的な形のものが多いです。



（左から）  
丸子式土器の壺（渋沢遺跡）  
小形台付甕（滝戸遺跡）  
壺形土器（月の輪上遺跡）

### 2 どんな文様がついてるの？

棒状の粘土を貼り付けた「棒状貼付文」や、貝殻や束ねた棒状のものなどで施文した「波状文」、丸めた粘土を貼り付けた「円形貼付文」などさまざまな文様があります。



棒状貼付文（浮文）



波状文（条痕）



円形貼付文（浮文）

※写真上・下は月の輪上遺跡の土器。写真中は渋沢遺跡の土器

“文様”ではないけれど…

底の部分に穴の開いた土器。これは、埋葬に伴う祭祀で使用された土器を再び使うことがないよう、除霊的な行為がなされた結果とされています。



城山遺跡出土の壺

#### 誰かに話したくなる！ 考古学トリビアの壺

##### 多様なくらし

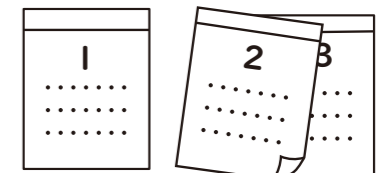
富士宮市の黒田には、弥生時代の遺跡である月の輪上遺跡があります。この遺跡は丘陵の上に立地しており、水田を作るには不向きな土地であるため、畑作や狩猟などが主体のくらしであった可能性があります。弥生時代＝稲作のイメージがありますが、実はもっと多様だったと考えられます。



#### 2025 冬号のプレゼントクイズ！ 何月でしょう？

今回の特集、弥生土器にちなんでクエスチョン！「弥生」とは、旧暦の月の呼び名の一つ。さて何月のことを指すでしょう？…少し簡単すぎましたか？

答えを職員に伝えて、ぜひ埋文グッズをゲットしてください。



## バック ナンバー

これまでの『埋文ふじのみや』は富士宮市のホームページでご覧いただけます。



創刊号



Vol.2



Vol.3



Vol.4



Vol.5



Vol.6



Vol.7



Vol.8



Vol.9



Vol.10



Vol.11



Vol.12



Vol.13



Vol.14



Vol.15



Vol.16



Vol.17



Vol.18



Vol.19



Vol.20



Vol.21



Vol.22



Vol.23



Vol.24



Vol.25



Vol.26

## 富士宮市埋蔵文化財センター

所在地 〒419-0315

静岡県富士宮市長貫 747-1

電話 0544-65-5151

FAX 0544-65-2933

E-mail maibun\_center@city.fujinomiya.lg.jp

展示室 平日

開館日 \* 祝日及び年末年始 (12月28日～1月3日) は休館

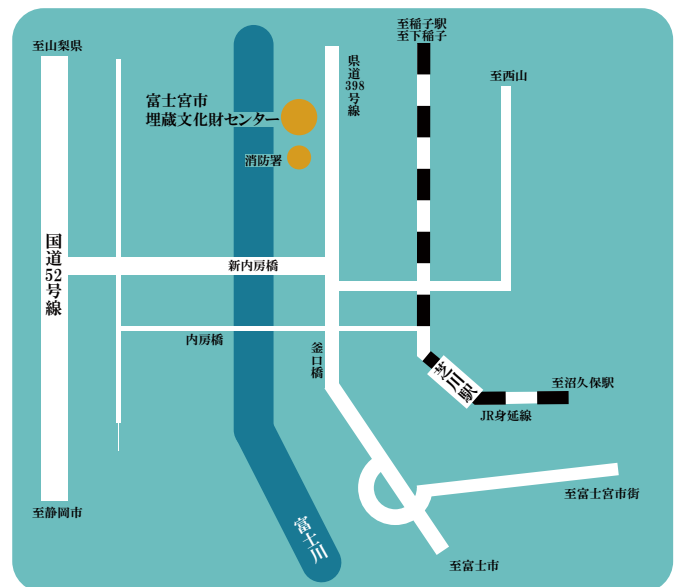
開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

\* 埋蔵文化財センターの業務時間は8:30～17:15

見学料 無料

駐車場 あり (無料)

※詳細はHPでご確認ください



富士宮市埋蔵文化財センターだより

**もぐらのはなし** 冬号 (通算 vol.27)

令和7年1月

編集／発行 富士宮市埋蔵文化財センター